

富士見寮における暮らしがにつながる場所の活用提案

秋田研究室（企画） A22AB146 脇悠陽

1. 背景

1－1. 全国の学生寮の設置状況

全国には 433 の大学が運営・管理する 1147 の「学生寮」がある。愛知県には 53 の大学中、学生寮を管理・提供している大学は 27 大学あり、62 の寮がある。

次に、地域別の状況として愛知県に着目する。愛知県内には 53 大学が存在し、そのうち学生寮を管理・提供している大学は 27 大学である。これらの大学が管理する学生寮の数は 62 棟であり、愛知県においても一定数の学生寮が整備されていることが確認できる。しかし、県内大学全体の約半数にとどまっており、学生寮の設置には大学間で差があることが明らかである。

日本学生支援機構の「大学等における学生支援の取組状況に関する調査 1)」や報告によると、国立大学は 96.5%とほぼ全ての大学に設置されているが、私立大学では 53.5%、公立大学では 38.1%である。

また、その学生寮が大学直営であるのか、外部に委託して運営しているのかを調査を、大学のホームページより調査したところ、全国には大学が直接管理するの学生寮が 702 件あった（「大学直営寮」）。「大学周辺の民間下宿のうち大学の教育方針を理解し、学生が学業や課外活動に専念できる生活環境を維持している「指定寮 2）」は 167 件あった。また、その民間が経営する寮のうち大学生専用で使われることを前提としている「専用寮」は 73 件

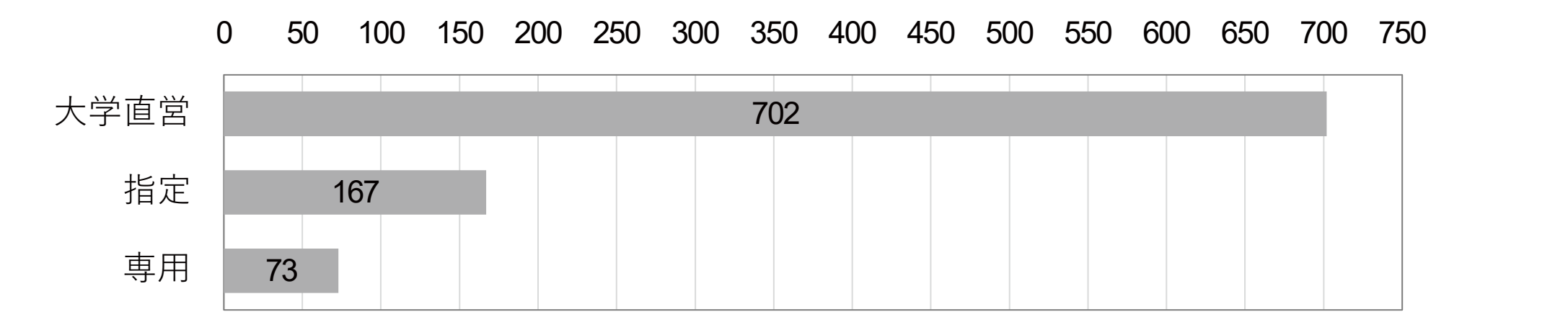


図 1 全国の寮についての調査結果 n=942

1－2. 椋山女学園大学の富士見寮について（写真 1）

椋山女学園大学の富士見寮は、2003 年に建設され、地上 9 階建て、収容定員 152 人を有する学生寮であり、主に大学生活を始めたばかりの学生や、親元を離れて初めて一人暮らしを経験する学生を対象とした居住施設である。新生活に対する不安を抱えやすい入学直後の学生にとって、安心して生活をスタートできる住環境が整えられている点が、本寮の大きな特徴である。オートロックや、防犯カメラが設備としてあり、管理人が 24 時間常駐しているなど、大学生として初めて一人暮らしを経験する学生に対しても、安心して暮らすことのできる居住環境となっている。また、2025 年 1 月に富士見寮 1 階の共有スペースを対象としたリニューアルが実施された。リニューアルの目的は、共有スペースの目的別利用を促し、寮生が自分の過ごし方や気分に応じて空間を選択できる環境を整えることであった。従来のように特定の用途に限定された空間構成から、多様な活動を受け入れる柔軟な空間へと転換することが目指されたのである。



写真 1 富士見寮

2. 目的

企画の目的は、富士見寮の共有スペースを対象に、利用状況に関するアンケート調査の結果から、学生の滞在や交流を促すイベントを実施することで、利用促進を図ることである。そして、ゆくゆくは寮生自らがイベントの企画・実施が広まることを目指す。



3. 対象スペース

今回の企画を実施するスペースは、富士見寮 1 階にある共有スペースである。靴を脱ぐ小上がりスタイルでプロジェクターを使い映画をみたり、くつろげる「みんなのいばしょ「FuFu」(写真 2 左)」。簡単な料理やパーティーや談笑ができる「みんなのいばしょ「Jiji」(写真 2 右)」。この 2 つのスペースを活用した。



写真 2 みんなのいばしょ（左）「FuFu」（右）「Jiji」

4. 企画内容の検討

4-1. 利用状況に関するアンケートの結果

本企画では、主に富士見寮に居住する学生を対象としたイベントの企画・実施した。寮生の QOL 向上のため、「食」と「住」に着目してアンケート調査を行った。「みんなのいばしょ「FuFu」を利用したことはありますか」の質問に対して、45 件中、「利用したことがある」が 24 件、「利用したことがない」が 22 件であった（図 2）。一方「みんなのいばしょ「Jiji」を利用したことがありますか」の質問に対しては、「利用したことがある」が 31 件、「利用したことがない」が 14 件であった。「FuFu」も「Jiji」も約 3 割の人は利用していない人もいることがわかった。結果を踏まえ、各共有スペースを活用する企画を計画し、実施した。ミーティング等のスケジュールを表 1 に示す。

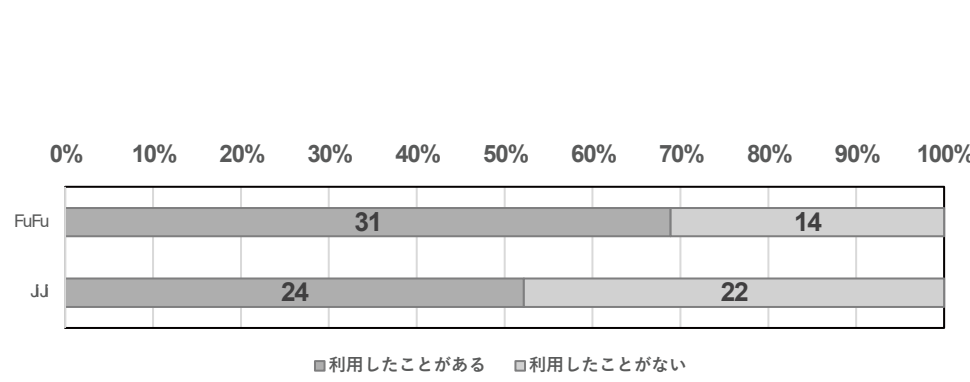


図 2 共有スペース利用状況のアンケート結果 n=45

表 1 スケジュール

月日	内容
3月6日	使用状況の観察
5月20日	第 1 回イベントのミーティング
6月28日	第 1 回イベントの実施
9月24日	第 3 回イベントのミーティング
11月6日	第 2 回イベントのミーティング
12月6日	第 2 回 & 3 回イベントの実施

4-2. 共有スペースの設備

「みんなのいばしょ「FuFu」」は、プロジェクターが設置されているため、画像や映像を用いたイベントが可能である。また、「みんなのいばしょ「Jiji」」は、キッチン設備を備えており、食に関するイベントの実施が可能である。

5. 企画案の決定

アンケート調査の結果から、富士見寮 1 階の共有スペースは一定の認知があるものの、利用経験のない寮生も多く、日常的な利用につながっていない現状が明らかとなった。

そこで、アンケート結果等を踏まえ、3 件のイベントを企画し、実施した。

5-1. 第 1 回「ライフオーガナイザーによる暮らしを快適にするための片付け講座」(写真 3)・・・FuFu
暮らしを快適にするために、収納空間の使い方、自分の生活スタイルにあった片付けの方法を学んでもらう。

5-2. 第 2 回「肌の基礎知識と正しいスキンケアを学び、やさしい泡のホイップスパを体験しよう！」(写真 4)・・・Jiji
泡の洗顔体験を通して、肌の基礎知識とスキンケアの方法などを学んでもらう。

5-3. 第 3 回「栄養満点！作り置きおかず」(写真 5)・・・Jiji
調理の手間が少なく、作り置き可能なおかずを実際に調理し、試食してもらう。



写真3 イベントチラシ



写真4 イベントチラシ



写真5 イベントチラシ

6. 第 1 回イベント

6－1. 実施概要

「ライフオーガナイザーによる暮らしを快適にするための片付け講座」

実施日 6 月 28 日

講師 朝岡まみ 氏

開催時間 13：15～15：00

開催場所 みんなのいばしょ「FuFu」

6－2. 当日の様子 (写真 6)

本イベントでは、収納空間の使い方や、自身の生活スタイルに合った片付け方法を学ぶことを目的とした。

イベントで使用したワークシートには、部屋でどのように過ごしたいか、空間をどのように変化させたいかといった項目が設けられており、イベント後のアンケートにて「参加前と比べて片づけに対する意識に変化はあったか」の質問では「当てはまる」と回答した人は 66.7% でやや当てはまると回答した人は 33.3% であった。「実際に今日学んだことを、今後の生活に活かそうか」という質問に関しては全員が「はい」と回答した。



写真6 当日の様子



7. 第 2 回イベント

7－1. 実施概要

「肌の基礎知識と正しいスキンケアを学び、やさしい泡のホイップスパを体験しよう！」

実施日 12 月 6 日

講師 岩崎尚美 氏

開催時間 10：00～

開催場所 みんなのいばしょ「Jiji」

7－2. 当日の様子 (写真 7)

実際にサロンを経営されて方を講師としてお招きした。

本イベントでは、泡洗顔の体験を通して、肌の構造や洗顔の重要性、日常的に実践できるスキンケア方法について学んでもらうことを目的とした。イベントでは、ホイップスパやパックなどの施術体験を通して美容への関心を高めるとともに、肌の基礎知識や美容成分、肌質に合った化粧品選びなど実体験を交えて学ぶ機会としたことで、参加者が日常生活の中で美容を意識し、実践につなげやすい構成とした。イベント後のアンケートにて「体験内容（ホイップスパなど）の満足度を教えてください」と質問に対し、全員が「とても満足」と回答した。



写真7 当日の様子

8. 第 3 回イベント

8－1. 実施概要

「栄養満点！作り置きおかず」

実施日 12 月 6 日

講師 小多沙知 氏

開催時間 16：00～

開催場所 みんなのいばしょ「Jiji」

8－2. 当日の様子 (写真 8)

本イベントでは、短時間で調理でき、日常生活に取り入れやすいレシピを用いることで、寮生が無理なく実践できる食生活の工夫を学ぶことを目的とした。

本イベントでは、「健康的な食生活を意識すること」と「日常生活に無理なく取り入れられること」の両立を重視し、調理の手間が少なく、作り置きが可能なレシピを学ぶ内容とした。

実践的な調理体験を通して、食材の扱いや、栄養の工夫への理解を深める機会とした。イベント後のアンケートにて、「普段の食生活について、栄養バランスが気になることはありますか？」では、「役立つ」と全員が回答した。



写真8 当日の様子